

「通学路安心安全見える化大作戦」

鳥取県立倉吉東高等学校育友会

☀ ねらい・目的

近年、学校の内外を問わず、不審者による子どもの安全が脅かされる事件、事故が発生している。不審者情報をもっと保護者、生徒、学校、地域で共有し、「危ない場所」をチェックし認識するために、単にその場所を地図上にマッピングするだけでなく、360度展開できるパノラマ写真など立体的な画像や映像を用いることで、現場でのリアル感をもっと具現化した情報発信が必要と考えた。

保護者が中心となって「危ない場所」のパノラマ写真や映像をネットで発信することで、生徒、保護者、学校、地域が一体となった不審者情報の共有が進み、生徒自身が危険を予測し、回避できるよう生徒の安心安全を守る防犯教育の充実につながり、通学路の安心安全がよく見えるようになると考え、この取り組みを始めた。

☀ 内容

不審者が出現した場所やその状況について、文字情報の他に、生徒（保護者）目線の景色を、画像、動画などを含むハイパーメディアにより情報発信するサイトを設けた（次頁 資料）。

サイトの運営は、本校の育友会ブログの運営委員会に保護者から募集したメンバーを加えた検討会でやっている。

サイトには、地域の警察から公表されている不審者による声かけ事案の情報だけでなく、学校、県教育委員会からの情報も掲載している。また、保護者から寄せられた身の回りで起こった不審者等の情報も掲載している。

保護者を始め、学校、警察などから得られた情報を、運営委員会のメンバーでマッピングし、どのような場所でなぜ事案が起こったのかを知るた

めに、現場に出かけ、写真や映像を撮り、それを加工してサイトに掲載している。

リアル感を大切に、通学路の安心安全の見える化を心がけている。

また、生徒の多くが自転車を利用して通学しており、生徒自身が加害者となる恐れもあることから、サイトには、地域内での自転車の事故事案や危険箇所についても、通学路の安全という観点から情報を掲載し、生徒に注意喚起している。

さらに、この取り組みと呼応して、本校では公式に携帯メール配信サービス「まちComiメール」による提供情報を始めたところである。学校と連携して、このサービスから提供される不審者情報についても迅速に掲載している。

☀ 実践結果（今後の課題）

○実践結果

不審者情報を単に文字情報だけでなく、危険な場所の位置、その位置に立ってみた生徒（保護者）目線での景色を、画像、動画などのハイパーメディアを組み合わせることで、よりリアル感のあるものとして情報提供でき、危険箇所を視覚的に認識してもらい、防犯意識を高めるよう保護者や生徒に促すことができた。この取り組みを進める上で、110名を超える多くの保護者の参画が得られ、通学を安心安全なものにしていきたいという保護者の熱い想いを、一つにすることができた。

さらに、構築したサイトは近隣の高校はもとより、地域にある小・中学校の防犯教育、安全教育にも利用していただけるものとなった。

保護者や地域の警察、関係団体等の協力を得て、地域全体で生徒の安心安全を見守る体制をスタートさせることができ、通学路の状況を「見える化」して、安心安全の一助とすることができた。



○今後の課題

サイトを構築し、情報発信していくことは、通学路での生徒の安心安全を不断に確保していくための一つのスタートに過ぎない。通学路の安心安全は、学校はもとより保護者の力だけでは到底叶えられるものではなく、これまで以上に、地域の警察を始め、「こども110番の家」「地域安全パトロール隊」など地域の関係団体との協力を密にしネットワークを強固なものにしていきたい。

さらに、サイトをより充実したものにして、安心安全に係る情報を迅速且つ幅広く発信し地域で共有していくことで、生徒の通学路の安心安全を高めていきたい。

☀ PR (特徴・工夫・努力した点など)

○特徴

- ①この取り組みは、多くの保護者の安心安全への大きな期待とともに、学校をはじめ、県教育委員会、地域の警察、関係団体の協力を得て、地域全体で生徒の安心安全を確保しようとするものである。
- ②携帯電話からサイトへアクセスできるようにした。
- ③不審者の出現した「危険な場所」の画像には、生徒（保護者）目線で360度展開できるパノラマ写真など立体的な画像を多用し、臨場感あふれたものになっている。
- ④自転車事故の危険性を伝えるために、自動車の運転者視点の映像を掲載することで、どの地点で危険性が高いか、理解を深めることができる。

○工夫・努力した点

- ①この取り組みに向けて、保護者、学校に理解と協力を得る必要があった。不審者の情報、自転車通学での危険箇所については、保護者からも多くの情報を寄せてもらうことで、保護者と学校が一体となった取り組みとし、生徒を守って

資料・情報提供するページ



いくことが必要と考えた。保護者にこの取り組みへの協力・参画を働きかけたところ、110人（全保護者の15%）を超える賛同があり、保護者の関心の高さを知ることとなった。

- ②地域の警察との協力も欠かせないため、協力依頼をし、理解を得た。
- ③不審者が出現した「危険な場所」については、360度のパノラマ写真を多用し、現場での現実感を出せるように心がけた。
- ④不審者の出現した場所の写真をサイトで公表することに、一部の保護者から否定的な意見が出された。検討会で議論した結果、公表する画像や映像はプライバシーに配慮することを確認した上で、画像や映像による情報発信は、現場のリアル感をよく伝えられるので、結果的に、保護者、生徒の防犯意識の一層の向上に役立つと理解した。
- ⑤安心安全の確保は喫緊の課題として捉え、この取り組みの企画からサイト構築、情報の掲載までをスピード感をもって進めた。

備考（実践の参考となる公開中のHPアドレス、写真、資料等）

通学路安心安全見える化大作戦

<http://sotoanshin.blog88.fc2.com/>